INDEX~御覧になりたいテーマをクリックしてください~

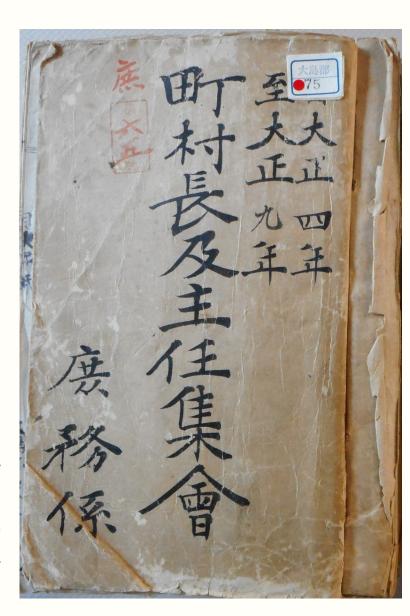
《展示資料》

町村長及主任集会

大正4年(1915)~9年 大島郡役所文書75

明治12年(1879)~大正12年(1923)まで置かれた大島郡役所で作成、収受された文書のうち、主に大正4年から9年までの郡内町村長や主任の集会に関する文書を集めた簿冊です。主に資料の草案と、ガリ版刷りの当日配付資料の控、関連資料、事務連絡から成ります。

集会では、郡役所(県)からの指示・指導や、各町村との協議がおこなわれました。話題は多岐にわたっており、季節に合わせた感染症対策の指示なども出されています。当該期の地域の課題、関心事がうかがえる資料です。



《展示テーマ》

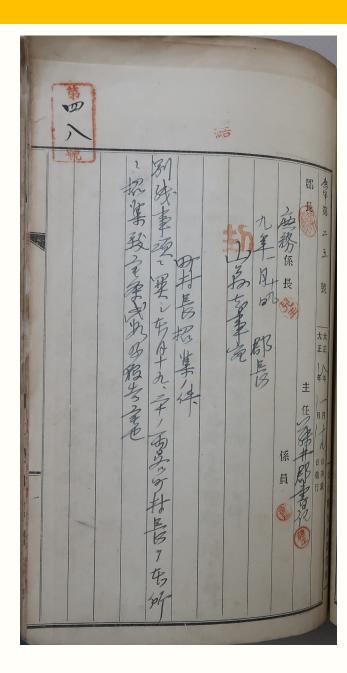
【1】スペイン風邪対策

【2】感染症水際対策

【3】医療体制の整備

▶ 行政文書の書式と構成

【1】スペイン風邪対策 ~ 第48号 町村長招集の件(大正9年1月19日)



大正9年1月19日・20日に大島郡役所でおこなわれた町村長の集会に関する文書です。

第冊冒頭に付された目次によると、町村長の集会は、状況にもよりますが、おおよそ2~3か月に1回程度の頻度で開催されていたようです。

この回は年頭の会合ということで、郡長による挨拶がおこなわれました。ちょうどヴェルサイユ条約が締結された次の年だったため、戦勝と好況を喜びつつも軽薄を戒め、目下の課題である民力涵養や教育の改善、吏員の待遇改善に言及して締めています。

この時の話題は下の一覧のとおりです。前年の正月前後も山口県内ではスペイン風邪が流行していましたが、その頃おこなわれた町村長集会の目次には関連するとみられる項目は見当たりません。

大正9年1月19日・20日町村長集会提出事項目次

年頭の辞

指示事項

- 1. 町村吏員報酬給料額等増加に関する件
- 2. 町村吏員、小学校教員等臨時手当増額に関する 件
- 3. 町村治一覧に関する件
- 4. 示談会に関する件
- 5. 矯風彰善に関する件
- 6. 民力涵養督励委員設置に関する件

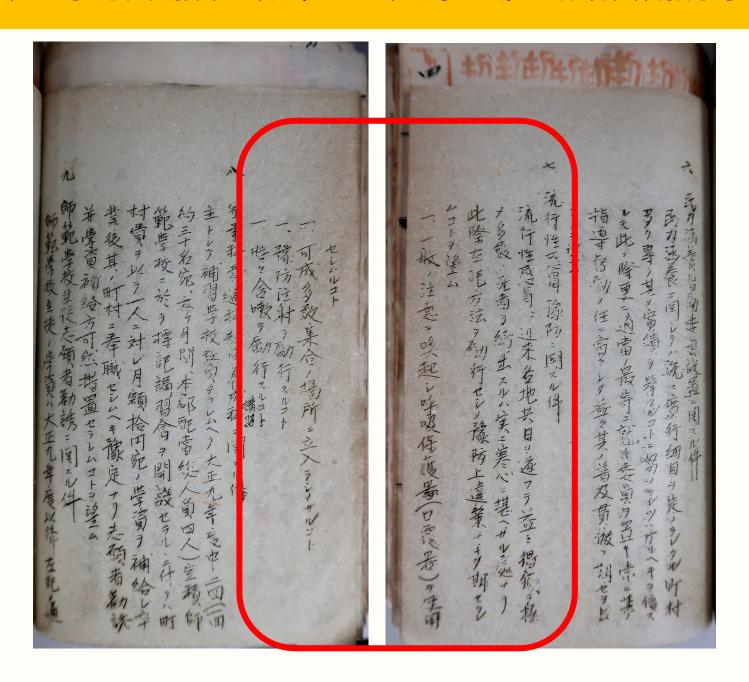
7. 流行性感冒予防に関する件

- 8. 家事科裁縫科教員養成講習科に関する件
- 9. 師範学校生徒志願者勧誘に関する件
- 10. 青年団指導に関する件
- 11. 実業補習教育奨励に関する件
- 12. 小学校年末賞典金に関する件
- 13. 区長制度施行に関する件
- 14. 道路法施行に関する件

協議事項

- 1. 日本海員掖済会員募集の件
- 2. 故井上友一氏記念事業資金募集の件
- 3. 村田清風翁遺跡保存会寄附募集の件
- 4. 東京松陰神社修築寄附募集の件
- 5. 桜圃会に関する件

第48号 町村長招集の件(大正9年1月19日) 配付資料指示事項第7項

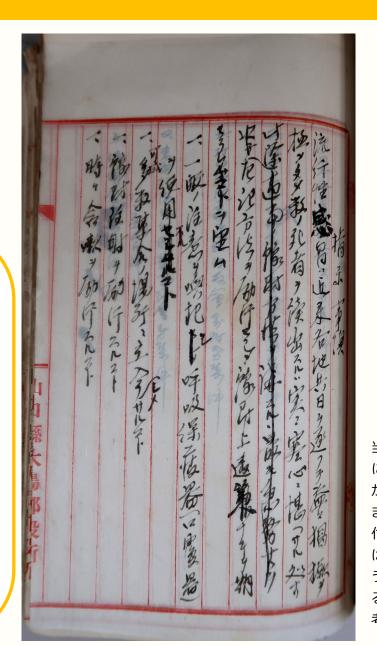


当日の配付資料です。スペイン風邪の 予防策として、

- ▼スクの着用
- 多人数の集まる場所にはなるべく 行かない
- 予防接種
- うがいをおこなう

が示されています。

第48号 町村長招集の件(大正9年1月19日) 指示事項第7項草案



指示事項

流行性感冒ハ、

近来各地共日ヲ逐フテ益々猖獗ヲ

セラレムコトヲ望ム。 ルキ左記方法ヲ励行セシメ、予防上違策ナキヲ期 此際適当ノ予防方法ヲ講スルハ最キ急務ナリ。 と がは、多数ノ死者ヲ続出スルハ実ニ寒心ニ堪ヘサル処ナリ。

時々含嗽ヲ励行スルコト予防注射ヲ励行スルコト

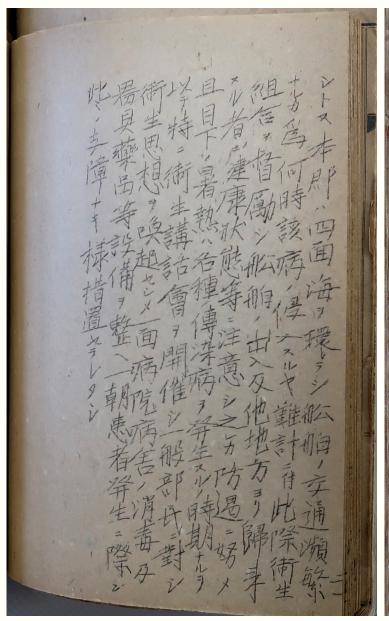
一般ノ注意ヲ喚起セシメ、

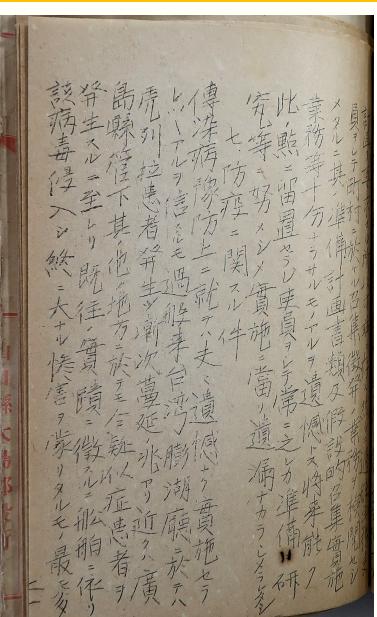
呼吸保護器

(口覆器)

当日配付資料のうち、流行性感冒予防に関する部分の草案で、推敲のようすがうかがえます。2条目、人が多く集まる場所を避けることに対し、後から付け足されている「可成」は、ここでは「なるべく」と読むのが適当でしょう。そのような場所に全く行かずにいることは難しいと考え直しての補筆と考えられます。

【2】防疫水際対策 ~ 第45号 町村長集会開催の件(大正8年7月23日) 配付資料第7項 防疫に関する件



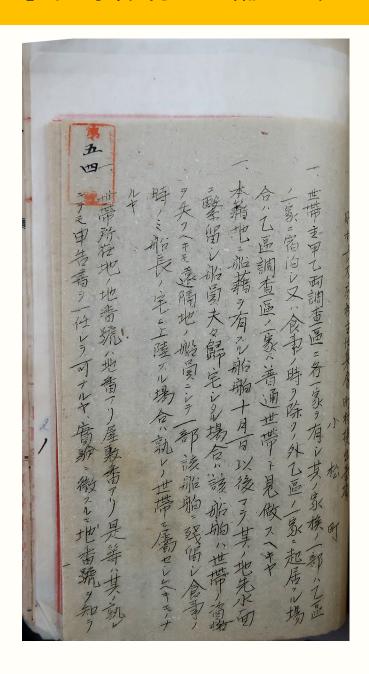


大正8年7月に開催された町村長集会の配付資料です。このときの集会には、国勢調査や神社行政、消防組について等、指示事項が33件、史跡名勝天然記念物保存法や分教場視察について等、注意事項が7件、加えて協議事項として橿原神宮・靖国神社への寄附の2件が提出されました。

写真の「防疫二関スル件」は注意事項の7件目です。台湾・澎湖諸島でコレラが発生し、蔓延の兆候があること、広島県他、国内でも疑似症状の患者が発生していることから、注意を喚起しています。

過去の事例から、船舶により感染症が 島へ入り、ついには「大ナル惨害」を もたらすことが多いとしており、島外 との接点に注意を払っていたことがわ かります。当時の大島は、中国-四国 間の各港を結ぶ船だけでなく、大阪-下関間の大型定期汽船等も寄港してい ました。

【3】医療体制の整備 ~ 第54号 町村長及庶務主任集会提出事項(大正9年6月4日)



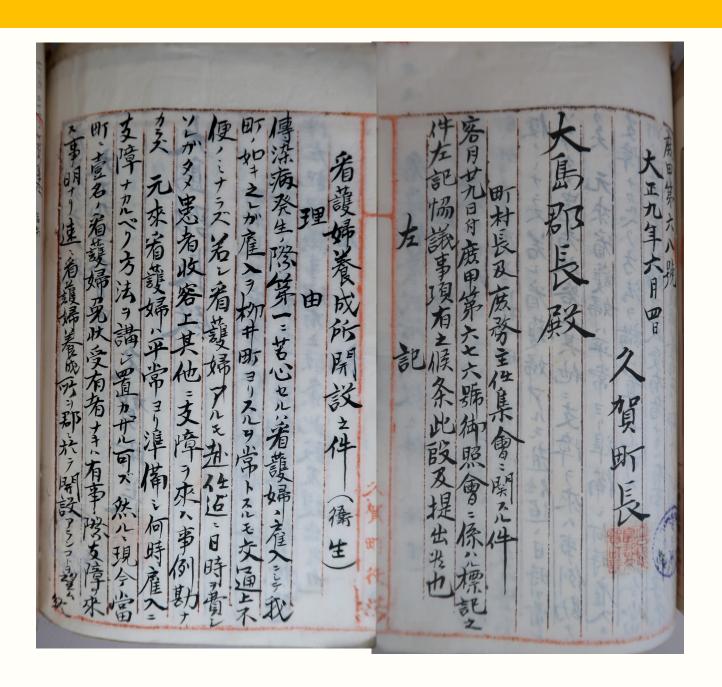
大正9年6月におこなわれた町村長及び庶務主任の集会に関する文書です。

集会に先立ち、郡役所は、郡内の町村に対し、集会で取り上げてほしい事柄について 5月29日付で照会を出していました。これに対する町村の回答と、それをとりまとめ たガリ版刷りの配付資料とみられるものがひとまとまりとして綴じられています。

このときに提出された事柄は、小松町からの国勢調査の事務に関する疑問13点と、久賀町からの郡内への看護婦養成所開設の要望でした。

この年の10月、第1回国勢調査が実施されます。今回の小松町に限らず、選挙や全郡的な調査、徴税等に関しては、運営の実務に関わる各町村の部署からの質問・確認が多く寄せられました。また、久賀町が提出したような、時勢上必要と思われたことなども折に触れ提示されました。

第54号 町村長及庶務主任集会提出事項(大正9年6月4日) 久賀町庶甲第六八号



久賀町長から大島郡長へ提出された協議 事項です。「伝染病」発生時、最も深刻 だったのが看護婦不足であったことか ら、郡内で看護婦を養成し、普段から 雇っておくことの重要性を主張していま す。

▶ 行政文書の書式と構成

当時の役所では専用の罫線の入った紙、罫紙を使っていました。 久賀町役場の罫紙は、和紙に近い紙に朱色の罫線を印刷したもので、綴じる時は半分に折って使いました。開くと下のようになります。縦書きですが、現在の行政文書と同じように、文書番号等が付され、似たような構成になっています。

